

避難所における巡回診療の報告

新潟市・成田医院

成田昌紀

震災後、新潟市では被災者を受け入れるため当初3か所に主たる避難所を開設しました。すなわち、3月15日の新潟市体育館の開放を皮切りに、16日には西総合スポーツセンター、18日には豊栄総合体育館を開設したのです。やや遅れて21日には補助的に亀田総合体育館が加わることになり、最終的にはこれら4施設で対応に当たることになりました。

被災者の受け入れ人数は開設当初から速やかに増加し、3月20日には1,167名と最高に達しました。その後は比較的急速に減少し、開設から3週間後には587名と半減し、8週間後は279名、16週間後は100名以下となり、その後も順調に減少し8月31日には4施設全てが閉鎖されました。

この間、新潟市医師会が行った巡回診療は3月19日から4月8日の3週間です。出務した医師は

内科医58名、小児科医8名、整形外科医2名で合計68名でした。表は巡回診療の利用状況をみたものです。表より、延べ人数で350名の方が巡回診療を利用したことになります。科目別には、全施設で内科が300名、小児科が35名、整形外科が15名で圧倒的に内科を利用した人が多いことが分かります。この事は被災者の多くが慢性疾患を抱えた高齢者であること、感染症が蔓延しなかったこと、家屋の破壊等による外傷が少なかったこと等が容易に推測できるかと思えます。また、巡回診療の利用状況の推移を見ますと、利用者数は最初の1週間で188名(53.7%)、2週間で294名(84%)であり、その後は急速に減少しています。この事は巡回診療開始後2週間でほぼ避難所の医療的な混乱は解決できたのではないかと思います。

早いもので震災から既に7か月が過ぎました。

表 避難所における巡回診療利用者数

月日(避難者総数)	新潟市体育館			西総合スポーツセンター			豊栄総合体育館		計
	内科	小児科	整形外科	内科	小児科	整形外科	内科	小児科	
3月19日(1097人)	4人	4人		10人			6人		24人
3月20日(1167人)	3人			18人	7人		10人		38人
3月21日(1094人)	15人	7人		10人	2人		9人		43人
3月22日(1048人)	8人			10人			5人		23人
3月23日(1009人)	6人			10人			6人		22人
3月24日(969人)	6人			8人			3人		17人
3月25日(937人)	8人			7人			6人		21人
3月26日(875人)	10人			7人			1人		18人
3月27日(838人)	3人	3人		7人	5人		5人		23人
3月28日(801人)	4人			5人			2人		11人
3月29日(792人)	3人			4人			2人		9人
3月30日(764人)	6人			4人			5人		15人
3月31日(749人)	7人			5人			3人		15人
4月1日(714人)	6人			5人			4人		15人
4月2日(687人)	3人		4人	5人			2人		14人
4月3日(632人)	2人	2人		2人	2人	11人	2人	3人	24人
4月4日(587人)	2人			2人			1人		5人
4月5日(550人)	3人			0人			1人		4人
4月6日(557人)	0人			0人			2人		2人
4月7日(555人)	1人			0人			0人		1人
4月8日(552人)	2人			0人			4人		6人
計	102人	16人	4人	119人	16人	11人	79人	3人	350人

(地域医療連携室 平成23年4月18日)

あの日、3月18日はまだ肌寒く豊栄総合体育館の駐車場には残雪があったと記憶しています。体育館の中では福島からの被災者はまだ数家族しか見当たらず閑散としていましたが、市職員は被災者を迎える準備に余念がなく忙しそうでした。何もかもが煩雑な状況でしたが、私どもは市職員と明日から始まる巡回診療についての話し合いを必要としました。医師側の基本方針が通常の簡易的な診療行為ではなく、迅速に患者さんを医療機関へ紹介するという一点にあったからです。というの

も、福島から避難された多くの方は原発事故による被爆を避けるために新潟へ移動してきた人々で、新たな重症疾患は抱えていないだろうと判断したからです。そのため、市職員の皆様には巡回診療前の十分な聞き取り調査という仕事を願います事になりました。このように、巡回診療という行為に関わった市職員、医師及び医師会事務局の協力によって、大きなトラブルもなく効率のよい良い巡回診療を行うことができたのではないかと思います。